

利用者様のつぶやきに に耳を傾けよう

～コロナ禍だからこそできることを～

グループホーム グレイスフル塩尻

発表者 清水 智子 PC操作 寺沢 彩華



グループホーム紹介

★当施設は長野県塩尻市の駅前にあり、グループホームの他にデイサービスセンター、小規模多機能、特別養護老人ホーム、こども園が併設した複合施設です。

★介護スタッフのサポートを受けながら、1ユニット9名合計2ユニット18名の利用者様が生活を送っています。

★こども園との交流、地元のお祭りへの参加、地域方との合同の防災訓練など、地域に根付いたグループホームです。



職員紹介

構成メンバー	林檎ユニット7名 花梨ユニット6名
合計人数	13名
構成メンバーの職種	介護職
平均年齢	41歳
月当たりの会合回数	1回
合計会合回数	8回



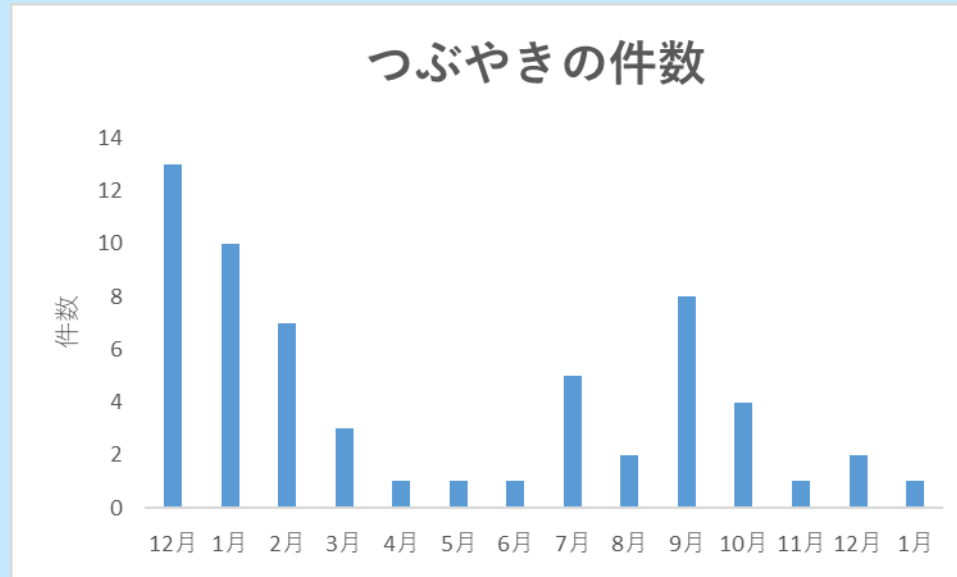
取り組んだ課題の選定理由

感染症の流行により、不安を感じる利用者様が多くいたため、その不安を少しでも解消するためにつぶやきを吸い上げていくこととしました。

→つぶやきを挙げることを課題（テーマ）に選びました。



具体的な取り組み・現状把握①



具体的な取り組み・現状把握②

- 過去一年を振り返ってみた。一つしか挙げられていない月がある。
- 特定の職員が挙げている。
- 職員の異動や人員不足の月は件数が少ないか挙げられていない。



活動の目標設定

毎月一人一つ以上の
つぶやきを挙げよう。



何故つぶやきがあがらない？

つぶやきが挙がりにくい原因として・・・

- つぶやきを聞き取っても、後になって記録しようとして忘れてしまう。
- 何がつぶやきか分からない。
- 意思疎通の難しい方のつぶやきは聞き取るのは難しい。



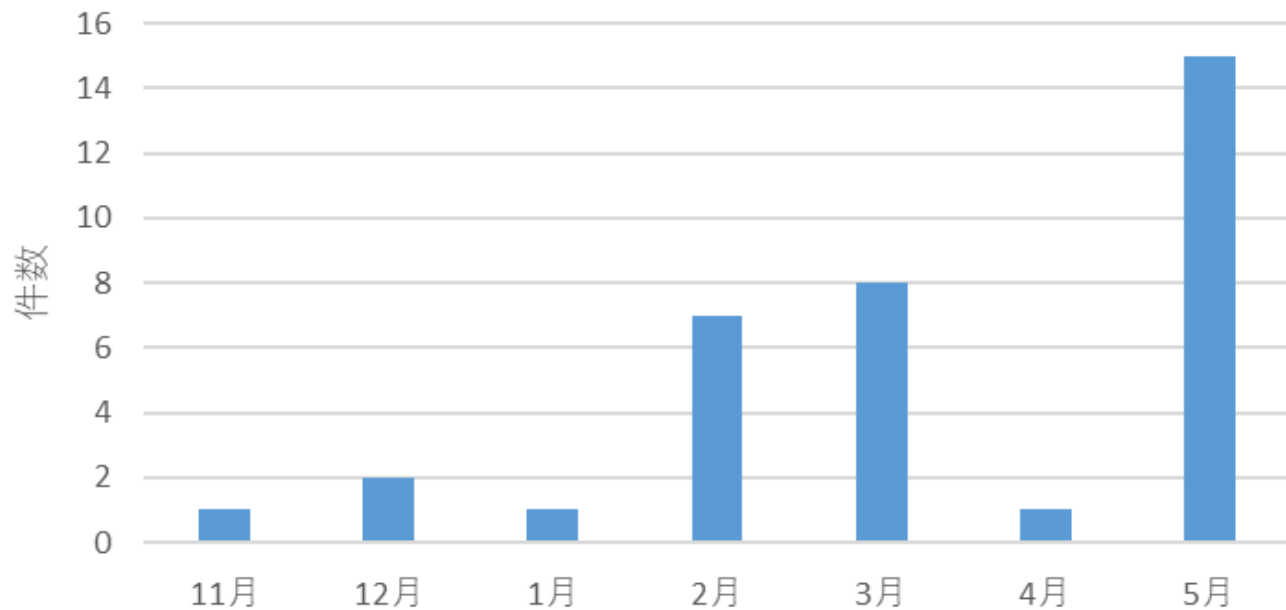
対策の実施

- 何をつぶやきに挙げていいかわからない慣れていないEPA職員には個別に説明し、挙げてもらう。
- フロア会議での発信。
- 挙げられていない職員に声をかける
- パソコンだけでなく、端末で入力する。



活動の成果①

つぶやきの件数



活動の成果②

- 対策の実施期間の2月と3月はつぶやきの件数が7件と8件となった。
- 数には挙がっていないが、実際の利用者様のつぶやきに応じて対応していた。
- パソコンでの入力に慣れていて、端末での入力に慣れていない。



例えばこんなつぶやきが・

この煮物おいしいよ！
昔の味を思い出すよ。

カルピスとアイス
クリームは好きだ
な。お饅頭が一番
好きだ。

もうそろそろ卒
業したいがだめ
かい？

きれいだね。
なんの花だろうね

私たちいつワクチン
受けるの？



例えばこんなつぶやきが・・

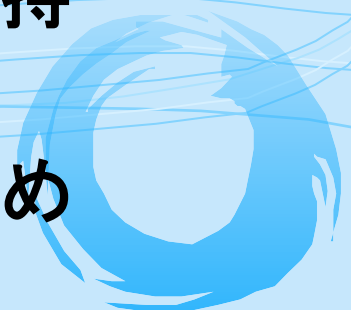
ねえちょっと！足がむく
んじやってどうしよう。
触ると痛いんだよ。

以前より足のむくみが強く見られた。
往診時、医師へ報告し、入院へとつながった。



今後の課題・考察・まとめ

- ・ 声かけにより、数を増やすことはできた月があったが、少なかった月もある。
- ・ つぶやき件数にばらつきはあった。
- ・ 100%の達成は出来なかったが、数にこだわるだけではなく、利用者様の気持ちに寄り添うことができた。
- ・ つぶやきを挙げることを習慣化するため、何か工夫できないか検討する



ご清聴ありがとうございました

